

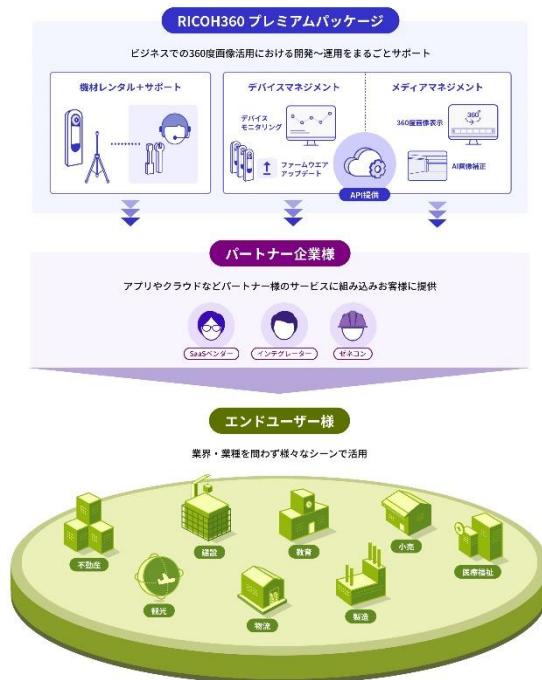
2023年11月7日

## RICOH THETA 本体および 360 度画像をよりビジネスで使いやすく 「RICOH360 プレミアムパッケージ」を提供開始

～ 新たなソリューションを共創するパートナーを募集 ～

株式会社リコー(社長執行役員: 大山 晃)は、不動産や建設業をはじめとしたビジネスの現場向けに、「RICOH THETA」本体および 360 度画像の使い勝手を向上させるソリューション「RICOH360 プレミアムパッケージ」の提供を国内で 11 月 14 日に開始します。パッケージは、①RICOH THETA 本体+専用三脚のセットの物損補償付きレンタルとサポート、②RICOH THETA の稼働状況を把握できるデバイスマネジメント、③360 度画像をより使いやすくするメディアマネジメントの 3 つから構成され、自由に組み合わせが可能です。リコーは本パッケージを、不動産業やハウズビルダー、ゼネコン、建設 SaaS ベンダーなどのパートナー企業に提供します。本パッケージを導入したパートナー企業は、自社サービスのラインアップのひとつとして、エンドユーザーに RICOH THETA や 360 度画像をより使いやすい環境を提供できます。本パッケージの提供開始にあたり、「RICOH360 プレミアムパッケージ」を活用し、エンドユーザーに向けた新たなソリューションを共創するパートナー企業を、幅広く募集します。

リコーは今後も、ビジネス向け 360 度関連市場におけるグローバルのプラットフォーマーとして、お客様のワークフローの DX に貢献することを目指します。



<「RICOH360 プレミアムパッケージ」イメージ>

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : [koho@ricoh.co.jp](mailto:koho@ricoh.co.jp)

お客様のお問い合わせ先 RICOH360お問い合わせ先 [communication-jp@ricoh360.com](mailto:communication-jp@ricoh360.com)

## 背景

リコーは、2013年に世界で初めて\*1ワンショットで360度撮影ができるカメラ RICOH THETA を発売以降、360度画像・映像を活用した事業の幅を広げてきました。現在では、360度画像・映像に関連するデバイスやソフトウェア、クラウドサービスを連携させることで、撮影からデータ活用まで、ワークフロー全体を効率化するソリューションを提供し、業務効率化と生産性の向上を実現する「RICOH360」プラットフォーム事業を展開・強化しています。

これまで RICOH360 では、主に RICOH THETA で撮影した画像を AI の活用によって解像度を向上させる機能や、現場を撮影すると自動でプロモーション動画を生成する機能の実装など、主に撮影後の画像の活用をサポートする「メディアマネジメント」の領域に力を入れてまいりました。一方で、人手不足などから DX が急務になっている建設現場をはじめとしたオフィスの外での活用の増加に伴い、より直感的に使いやすい UI(ユーザーインターフェース)、ネットワークへの簡単な接続、複数デバイスの一括管理などの「デバイスマネジメント」が求められています。また、建設業界をはじめとした業界の DX 加速と「RICOH360」プラットフォーム事業のさらなる拡大を目的に、様々なパートナー企業と共創を始めています。

\*1 コンシューマー製品において、水平方向や半球だけでなく、撮影者を取り巻く空間全てをワンショットでキャプチャーできる点において(2013年10月時点。当社調べ)

## 「RICOH360 プレミアムパッケージ」概要

### ● 機材レンタルおよびサポート

RICOH THETA と専用三脚のオールインワンセットで物損補償付きのレンタルで提供します。故障時は追加料金なしで代替機を迅速に提供するサポート体制も整えることで、現場の撮影業務のダウンタイムを低減します。

### ● デバイスマネジメント

ダッシュボードや API を通じて、RICOH THETA の稼働状況を遠隔で可視化することで、デバイスの故障につながるエラーや状態変化をいち早く察知し、業務への影響を最小限に抑制できます。ファームウェア自動更新や、デバイスが稼働している位置情報から、どの拠点でどの程度デバイスが使われているかの把握が可能です。\*2 デバイスごと・ユーザーごとの利用状況も可視化されるため、エンドユーザーはそれらの情報をもとに業務での活用に対するメンバーへのフォローを行うこともできます。

### ● 360度ビューワーや画像処理技術(メディアマネジメント)の提供

360度コンテンツの閲覧するために必要なビューワーや、画像の品質を向上させるための AI 超解像機能、画像切り出し機能等を API にて提供します。リコーの培ってきた光学や AI の技術を応用して開発した API を活用することにより、パートナー企業は一から開発することなく 360 画像・映像を活用したソリューションの開発・サービス提供が可能となります。

\*2 ファームウェア自動更新およびデバイスの位置情報に関する機能は、11月末以降順次提供予定。

## ■RICOH360 について

RICOH360とは、360度の画像・映像を中心とした業界横断型プラットフォーム事業を展開するブランドです。デバイス、ソフトウェア、クラウドサービスの連携により、撮影からデータ活用までのワークフロー全体を効率化し、よりよいユーザー体験を提供します。

<https://www.ricoh360.com/ja/>

## ■関連ニュース

- 「RICOH360」プラットフォーム事業でL is Bと協業を開始

[https://jp.ricoh.com/release/2023/0906\\_2](https://jp.ricoh.com/release/2023/0906_2)

- 「RICOH360」プラットフォーム事業でlog buildと協業を開始

[https://jp.ricoh.com/release/2023/0331\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2023/0331_1)

- 「RICOH360」プラットフォーム事業でスパイダープラスと協業を開始

[https://jp.ricoh.com/release/2022/0802\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2022/0802_1)

- デジタルサービスの拡大に向けて「RICOH360」プラットフォーム事業を強化

[https://jp.ricoh.com/release/2022/0330\\_1](https://jp.ricoh.com/release/2022/0330_1)

\*社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

## | リコーグループについて |

リコーグループは、お客様のDXを支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2023年3月期グループ連結売上高2兆1,341億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>